

令和8年1月国見町教育委員会定例会 会議録

- 1 開会日時 令和8年1月16日(金) 午後18時開会
- 2 招集場所 国見町役場
- 3 出席委員
1番 高橋 幸子 教育長職務代理者
2番 志村 裕美 委員
3番 中村 裕美 委員
4番 菊地 貴雄 委員
5番 石幡 良子 教育長
- 4 説明のため出席した職員の職氏名
教育次長兼教育総務課長 六戸 浩寿
教育施設課長 佐藤 智宏
生涯学習課長 小野 笑子
教育総務課指導主事 丹治 光夫
- 5 書 記 教育総務課主幹兼総務係長 八島 章
教育総務課主任主査兼こども教育係長 蓬田 祐子
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議の成立
教育長から、教育委員半数以上の出席があり、会議が成立していることが告げられた。
- 8 会議録署名委員
教育長から、志村裕美委員、菊地貴雄委員が会議録署名委員として指名された。
- 9 会期の決定
教育長から、会期は本日1日としたい旨の発言があり、これについて図ったところ、全員に異議無く、そのとおり決定された。
- 10 会議録の承認
教育長から、令和7年12月定例会会議録について、その承認の可否を諮ったところ、全員に異議無く、これを承認することに決定された。

1.1 教育長報告

(1) 教育長出席会議等について

教育長から、出席会議等について、別紙により報告した。

- ・令和7年12月12日に開催された総合教育会議について、教育大綱の中間見直し及び教職員の働き方改革の2点を中心に、委員及び町長を交えた建設的な意見交換が行われたことが報告された。委員からの意見はいずれも示唆に富むものであり、今後の施策検討において参考になるものであったことが述べられた。
- ・青少年健全育成推進町民会議への出席について報告があり、家庭教育に関する作文の発表を通じて、家庭の温かさは特別な出来事ではなく、日常の中の何気ない言葉のやり取りや共に過ごす時間の積み重ねの中にあると改めて感じた旨が述べられた。
- ・はたちの集いに関して、5年前に中学校を卒業した子どもたちの成長を目の当たりにし、短期間であっても子どもは大きく成長することを実感したと述べた。その上で、小中学校段階において子どもを決めつけることなく、一人一人の良さを大切にしながら送り出すことの重要性を改めて感じたと報告した。

1.2 協議・報告

【報告審議】

(1) 教育総務課報告

教育総務課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。なお、説明・質問の要旨については以下のとおり。

① 学校における働き方改革推進会議

令和7年12月16日に開催された「学校における働き方改革推進会議」について報告があった。同会議では、教育コンサルタント大野大輔氏（株式会社先生の幸せ研究所）を交えて、学校業務の見直しや、教職員が創造的に取り組むための時間的余白を生み出す方策について意見交換が行われた旨が説明された。

② 令和7年度 第1回国見町総合教育会議

総合教育会議の議事録について説明があり、会議の開催日時、議題及び出席者の概要が示された。教職員の働き方改革に関しては、保護者の理解と協力の必要性、部活動の地域展開に伴う体験機会の格差への懸念、文化部活動の地域展開の難しさ、教職員を守ることが子どもたちの教育環境を守ることにつながるという意見等があったことが報告された。

教育大綱（教育ビジョン改訂案）に関しては、人口動態や学習環境の変化、ICTの進展、不登校への対応等を踏まえた改訂の趣旨が説明され、ICTは目的を持って使いこなす力が重要であること、不登校への対応は担任任せにせず組織的に支援する必要があること、国見学が子どもたちの当事者意識を育てるとの委員からの意見があったことが報告された。なお、同議事録はホームページに掲載し、公表している旨が説明された。

③ 令和8年度教育委員会年間予定

令和8年度教育委員会年間予定について説明があり、未確定の行事があるものの、現時点での予定について共有がなされた。特に、東北6県市町村教育委員会連合会総会が盛岡市で開催予定であることが説明された。

(2) 教育施設課報告

教育施設課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。なお、説明・質問の要旨については以下のとおり。

① 令和8年度「国見こどもクラブ」の募集状況

現時点での申込者数は123名、一時利用は23名であり、引き続き申込みが可能である旨が説明された。

② 令和7年度通学路における合同点検結果

点検は令和7年12月19日に、警察署、県土木事務所、交通安全協会、小学校、教育委員会、建設課及び住民防災課の関係者が参加して実施され、小学校で把握している危険箇所及び町民から指摘のあった箇所を含め、計5か所を点検した旨が説明された。各箇所については、注意喚起表示の設置、路面表示の検討、横断歩道の再整備協議、速度抑制対策及び取締りの検討等、関係機関と連携して対応を進める方針が示された。

【委員質問】

○ 高橋委員

役場周辺の通学状況について、国道4号の横断など、集合場所の工夫が必要では。

● 教育施設課長

集合場所は保護者間で話し合いの上で設定されており、学校や教育委員会から指示しているものではない。機会があった際にお伝えする。

(3) 教育施設課報告

教育施設課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。なお、説明・質問の要旨については以下のとおり。

① 地域学校協同本部事業

高校入試対策講座、少年仲間づくり教室、国見っ子わんぱく広場、放課後塾、冬休み学習会、英検対策講座の各事業について、それぞれ説明された。

② 芸術文化事業

ベーゼンドルファー冬の特別指弾会について、家族単位での参加が見られたことが説明された。

③ 図書館事業「クリスマス会」

読み聞かせとワークショップを組み合わせた事業を実施したこと、急遽の人員変更があったものの関係者の協力により実施できたこと、子ども及び保護者の参加があったことが報告された。また、大人向けの読書・文学関連事業についても実施状況が説明された。

④ 青少年育成町民会議

各種大会への奨励金の交付及び健全育成推進大会等を実施したこと、作文発表を中心とした構成としたことで多くの来場があったことが報告された。

⑤ 今後の予定

発表会、教育講演会、コンサート等の開催予定が説明され、委員に対し参加の呼びかけがあった。

【委員質問】

○ 高橋委員

「成人の集い」における来賓の人数が他市町村と比較すると少ないが。

● 教育施設課長

コロナ禍以降の運営変更、会場設営の制約、実行委員会形式での実施、本人たちの意向を尊重した来賓選定を行っている。

(4) その他

① 教育ビジョン改定（案）について

教育総務課主幹から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。なお、説明・質問の要旨については以下のとおり。

本改訂は、策定から5年が経過し点検・見直しの時期にあること、国及び町を取り巻く教育環境が大きく変化していることを踏まえ改訂を行うものであること、検討委員会及び議会ワーキンググループでの議論を経て案を取りまとめたこと、今後はパブリックコメントを実施し町民意見を反映させていく予定であることが述べられた。

また、町民にとって分かりやすいビジョンとするため、本編4章、資料編1章の構成としたこと、改訂の背景や理念、果樹を用いた教育の全体像、5つの柱及びそれぞれの取組の方向性、PDCAとOODAを補完的に用いた循環型の推進体制について説明が行われた。

【委員質問】

○ 志村委員

果樹モデルの「土・水・木」等の色分け表示について、イメージを統一してはどうか。

● 八島主幹

視線誘導や印象の観点から色味変更を検討する。

● 教育長

このビジョンを教育関係者だけのものにしないため、完成後は、「概要版」「子ども版」を作成し町民、子どもの理解を広げていきたい。地域の人・モノ・コトを活かし地域全体で子どもの学びを支えることが、教育だけでなく街づくりにもつながる。

このビジョン案には、検討委員会の過程で出たキーワード（笑顔、夢、つながり、主体性、対話、心、非認知能力、自己肯定感、探究等）を盛り込んでいる。「小ささ」を強みとして打ち出し、5年後の姿がより良いものなるよう期待する。

② 子ども読書活動推進計画について

生涯学習課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。なお、説明・質問の要旨については以下のとおり。

計画期間、現状と課題、基本方針及び具体的取組について説明があり、乳幼児期からの読書

習慣形成、図書館来館のきっかけづくり、小中学校や地域との連携強化を進めていく方針が示された。具体策としては、乳幼児期の取組（ブックスタート継続に加え「セカンドブック」等を想定し、健診時に引換券を渡し図書館来館のきっかけにする狙い）、小中学校司書配置の充実、地域図書館の活用等の説明が行われた。

【委員質問】

○ 高橋委員

読書の楽しさを子どもに広げるには「大人が楽しそうに読んでいる姿」が家庭内にあることが重要と感じる。子どもへの呼びかけだけでは難しく、大人の側の読書文化の醸成も必要では。

● 生涯学習課長

本計画は、子どもの頃から素地を作り、大人になっても読書を楽しめるようにするという計画趣旨となる。

③ 2月教育委員会

教育総務課長から、2月教育委員会について、1月13日に国見町観月台文化センター第1会議室で開催予定であることが確認された。

13 閉 会 午前19時20分